

目標達成のための施策・事業の内容

8つの目標を達成するための4つの基本方針に基づく施策・事業について示します。

なお、各事業は、短期、中期、長期的な視点でスケジュールを設定しています。

実施	短期的視点（1～3年程度）
検討・実施	中期的視点（3～5年程度）
調査・研究	長期的視点（5年以上）

基本方針 1

「暮らし」や「交流」を支える公共交通 ～快適な生活を守り末永く暮らせるまちに～

(1)実態に即した利用者の利便性確保

施策 1-1 域間交通（地鉄電車、地鉄バス 五百石線）の維持

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

町内には域間交通として、「富山地方鉄道立山線、本線、不二越・上滝線」「富山地方鉄道バス五百石線」が運行されており、通勤・通学や観光等の足として、富山市や上市町などとの広域的な交流促進に大きな役割を担っています。

一方、これらの域間交通はコロナ禍による大幅な利用者数の減少などにより厳しい経営状況が続いていることから、本町においては国・県と連携し、利便性や持続性の確保のための財政支援を行い、その維持に努めます。



【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
国や県の補助を活用した交通事業者への財政支援（継続、新規） （事業 1-1-1）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	実施				
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者					

施策 1-2 実態に合わせた町営バスネットワークの再編

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

本町では地区間・地区内の移動手段として「立山町営バス」6路線を運行しており、町民等の日常生活の足としての大きな役割を担っています。一方で、利用者数の減少や燃料費の高騰等の影響を受け赤字額が拡大しています。

このため、現状の利用需要や生活圏などのライフスタイルに合わせ、運行ルートやバス停、ダイヤ、域間交通との乗り継ぎ方法などの見直しを行い、こどもや高齢者等の交通弱者も一定自由に動ける町営バスネットワークの再構築を進めます。



スーパーの開店時間に合わせた運行イメージ



域間交通との乗り継ぎの円滑化イメージ

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
重点事業	需要や生活圏などライフスタイルに合わせたルート・ダイヤの見直し（事業1-2-1）					
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標② 既存資源を活用し待合環境を改善する 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	実施	→			
実施主体	立山町、バス事業者、タクシー事業者、自治会、企業、店舗経営者等の受益者					
重点事業	こどもや高齢者等の交通弱者が自由に動けるルート・ダイヤの設定（事業1-2-2）					
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標② 既存資源を活用し待合環境を改善する 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	実施	→			
実施主体	立山町、バス事業者、タクシー事業者、自治会、企業、店舗経営者等の受益者					
域間交通との乗り継ぎの円滑化（事業1-2-3）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標② 既存資源を活用し待合環境を改善する 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	実施	→			
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者					

施策 1-3 町の公共交通全体の運賃体系の見直し

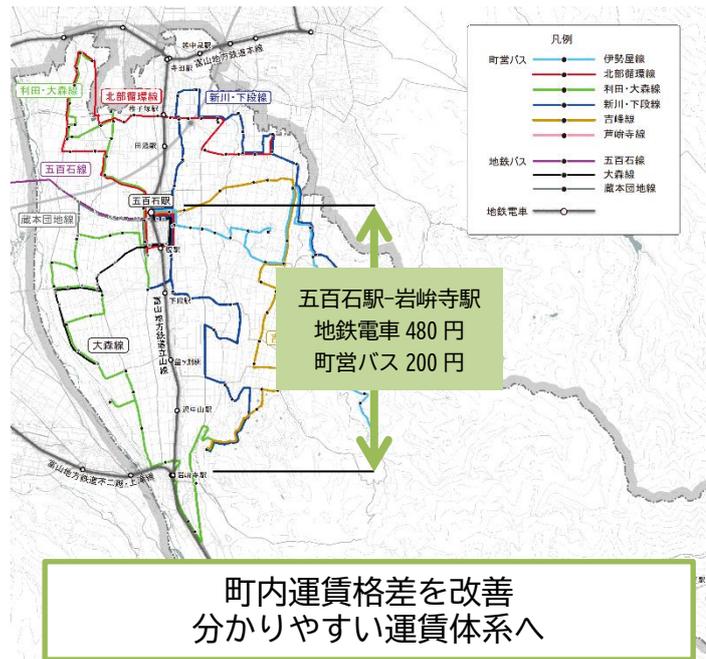
施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

町内には、鉄道や路線バス、コミュニティ交通など様々な形態の公共交通が運行されていますが、運賃体系や類似区間の運賃が異なる路線が混在しています。

このため、利用者の利便性や地域間の移動機会の公平性の確保の観点から、利用者に分かりやすい運賃体系への見直し検討を段階的に進めるとともに、適正な運賃（運賃格差の改善）への見直しを進めます。なお、運賃体系の見直しに当たっては、町営バスネットワークの再編と連携し進めます。

種別	路線名	町内運賃
町営バス	伊勢屋線	200円
	北部循環線	
	利田・大森線	
	新川・下段線	
	吉峰線	
地鉄バス	芦峯寺線	170～310円
	五百石線	
	大森線	
地鉄電車	藤本団地線	170～240円
	立山線	240～1,200円



【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
分かりやすい運賃体系への見直しの検討（事業 1-3-1）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、バス事業者、鉄道事業者					
運賃の適正化（事業 1-3-2）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、バス事業者、鉄道事業者					

施策 1-4 共通パスの導入

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

町内には、鉄道や路線バス、コミュニティ交通など様々な形態の公共交通が運行されていますが、交通事業者ごとに利用できるチケットや定期券が異なります。

利用者の乗り継ぎによる負担軽減に向け、交通事業者間の割引連携を含む相互利用可能な共通お出かけパスの導入を検討・実施します。



【富山市】おでかけ定期券

対象者	富山市内在住 65 歳以上
負担金	1,000 円
利用方法	市内各地から中心市街地へおでかけする際に、公共交通機関を 1 乗車 100 円で利用可能
利用可能な交通機関	地鉄路線バス、地鉄電車、市内電車、フィーダーバス、まいどはやバス
特典	協賛店での割引や市体育施設や文化施設の半額利用可能



【長野市公共交通活性化・再生協議会】長野地域 IC カード KURURU
長野地域のアルピコ交通、長電バス、一般路線バス全線、乗合タクシー、市町村営バスの一部で利用可能 出典：KURURU HP



【熊本市電等】わくわく 1day パス (施設利用割引付)
市電のほか、産交バス・都市バス・熊本バス・電鉄バス・電鉄電車・熊本城周遊バスで利用可能 出典：天草市HP

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8 年	R9 年	R10 年	R11 年	R12 年
相互利用可能な共通おでかけパスの導入 (事業 1-4-1)						
目 標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者					

施策 1-5 定期券の改善						
施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

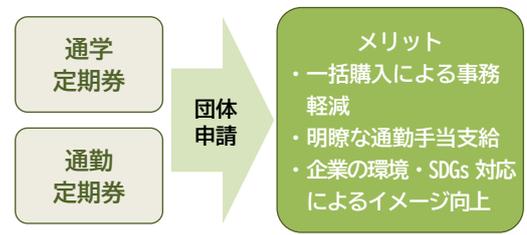
【概要】

定期券利用者は、通勤・通学者や高齢者などを中心として高頻度で公共交通を利用するいわゆる常連客であり、輸送人員の多くを占める重要な顧客です。一方で、コロナ禍を経て働き方やライフスタイルの変化により定期券離れも進んでいます。

このため、既存利用者の維持と新たな常連客の獲得を視野に、学生や高齢者等の交通弱者に向けた高い割引率での定期券補助の拡充を検討・実施します。併せて、交通事業者間での定期券の連携・共通化による定期券自体の利便性向上策の検討・実施や、団体申請・一括購入による事務手続の軽減などによる購入時の利便性向上策の導入検討を段階的に進めます。



【前橋市】
バス通学定期半額支援
前橋市は、高校生世代に向けてバスの通学定期券の購入額の半額を支援
出典：前橋交通ポータル



団体申請イメージ

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
重点事業	学生や高齢者等のターゲットに向けた定期券補助の拡充 (事業 1-5-1)					
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、自治会、企業、高校					
たてぽや交通系 ICカードと定期券の連携 (事業 1-5-2)						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、店舗経営者等の受益者					
団体 (企業、高等学校) 申請受付制度の導入検討 (事業 1-5-3)						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、高校、企業					

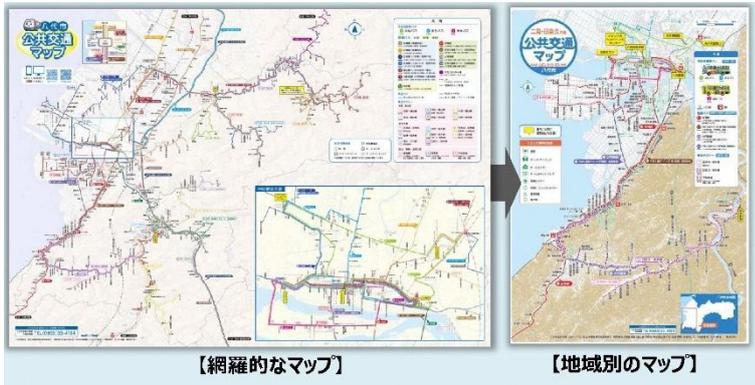
施策 1-6 時刻表、路線マップ等の改善

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

町内には、鉄道や路線バスをはじめ様々な運行路線があることから、それらの運行情報や乗り継ぎ情報等を利用者に分かりやすく伝え、公共交通をスムーズに利用できる環境を提供することが重要です。

出発地から目的地までの一連の交通情報を高齢者や初心者にも分かりやすく提供するため、町内全域の公共交通を掲載する統一的な時刻表や路線マップの作成を検討・実施します。併せて、利用者が安心して公共交通を利用できる環境づくりの一環として、主要駅や主要施設におけるデジタルサイネージ（電子看板）の設置による「とやまロケーションシステム」と連動したりアルタイム運行情報等の提供を検討・実施します。



【八代市】 全域全交通モードを掲載したマップと地域別マップ
出典：H30 公共交通マップづくりの勘どころ（国土交通省）



【富山市】 デジタルサイネージの設置
（富山市民病院待合スペース）
出典：富山県資料

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
町内公共交通の統一時刻表の作成（事業 1-6-1）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者	→				
主要駅におけるとやまロケーションシステム機能の拡充（事業 1-6-2）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標② 既存資源を活用し待合環境を改善する 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者	→				

(2)利用者の快適性の向上

施策 1-7 駅施設、駅付帯施設の保全・改修

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

町内の駅施設（駅舎や柵、トイレなど）や駅付帯施設（駐輪場）の多くは、整備後数十年が経過し老朽化が進んでいます。

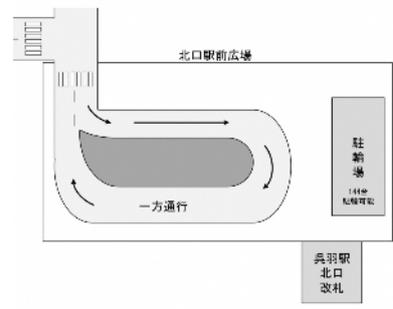
このため、駅施設等の快適性確保の観点から、個々の施設の劣化状況を把握しつつ、必要に応じて改修・整備や保全を検討・実施します。併せて、鉄道を利用しやすい環境づくりの観点から、駅へのピーク時の送迎状況を把握し、実態に即した送迎スペースや一時駐車スペースの整備に向けた調査・研究を進めます。



【黒部市】駅施設の改修（地鉄本線荻生駅）
出典：黒部市地域公共交通計画



【入善町】駐輪場の新設（西入善駅）
出典：富山県地域交通戦略会議資料



【富山市】呉羽駅北口広場
富山市が整備した送迎者が利用しやすい広場。交通計画に位置付けた取組。
出典：あいの風とやま鉄道 HP

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
駅舎及び駐輪場等の付帯施設の保全（事業 1-7-1）						
目 標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標② 既存資源を活用し待合環境を改善する 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者					
実態に即した送迎スペースの整備（事業 1-7-2）						
目 標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	調査・研究		結果により判断		
実施主体	立山町、鉄道事業者、自治会、企業					

施策 1-8 バス停の快適性の向上

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

本町の路線バスやコミュニティ交通のバス停の多くは、雨や日差しを遮る上屋や待合用のベンチが未整備の状態となっています。

利用者の快適な待合環境の確保に向け、地域住民の協力による空き家のバス停としての活用や、店舗の軒下や一角のバス停の待合スペースとしての活用を進めます。併せて、特に起終点や施設周辺など利用者が多い主要バス停においては、バスの運行情報を気軽に検索しアクセスできるよう、「とやまロケーションシステム」などの情報タブレットやQRコードの設置を検討・実施します。



【平塚市】沿道企業との連携による待合空間
平塚信用金庫の協力により銀行軒下にバス停の待合空間を設置。

出典：関東運輸局資料



【富山県】「とやまロケーションシステム」
を活用したQRコードの設置イメージ

出典：富山県資料



【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
重点事業	空き家や店舗等を活用したバス停下屋・ベンチの設置 (事業 1-8-1)					
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標② 既存資源を活用し待合環境を改善する 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	●	→	→	→	→
実施主体	立山町、バス事業者、自治会、企業、店舗経営者等の受益者、交通安全団体					
	主要バス停における情報タブレットやQRコードの設置 (事業 1-8-2)					
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標② 既存資源を活用し待合環境を改善する 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	●	→	●	→	→
実施主体	立山町、バス事業者、交通安全団体					

施策 1-9 車両の導入及び快適性の向上

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

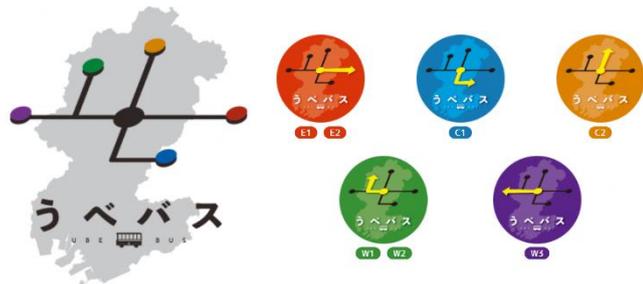
【概要】

本町の事務事業に伴う温室効果ガスの排出削減目標は、2030年度までに2013年比で50%削減することです。このため、町営バスの車両については、その更新時期を踏まえながら、環境に配慮したEVバスなどの導入を進めます。鉄道については、安全・安心な運行に向け、車両や線路の修繕、更新などの対応を進めます。

また、高齢者や障がい者、こどもなど誰もが利用したくなる公共交通となるよう、車両・路線のナンバリング及びカラーリングによるバリアフリー化やこれまでの公共交通のイメージを一新するデザインとサービスが一体化した交通ブランディングについての調査・研究を進めます。



【立山町】町営バス伊勢屋線
県内初小型EVバス導入
出典：立山町 YouTube



【宇部市】うべバス主要幹線ブランディングプロジェクト
・コンセプト+主要幹線である特別感
・5つの幹線を明るいきらび5色で表現・親しみやすい愛称「うべバス」
出典：うべバスHPほか

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
環境に配慮したバス車両の導入（事業1-9-1）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	実施	→	→	→	→
実施主体	立山町、バス事業者					
安全・安心な運行に向けた車両及び線路の老朽化への対応（事業1-9-2）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	実施	→	→	→	→
実施主体	立山町、富山県、鉄道事業者					
車両・路線のナンバリング及びカラーリングによるバリアフリー化（事業1-9-3）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	調査・研究	→	結果により判断	→	→
実施主体	立山町、バス事業者					
デザインとサービスとの一体化による交通ブランディングの検討（事業1-9-4）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	調査・研究	→	結果により判断	→	→
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、高校、観光協会					

施策 1-10 車内における地域コミュニティの醸成

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

公共交通の快適性を向上するためには、鉄道やバスの車内において利用者の交流を活性化させることも重要です。

このため、利用者同士のコミュニケーションの促進の観点から、地域住民や学生等の協力のもと、地域の魅力やおすすめスポットを車内でアナウンスするなどのサービスの検討を段階的に進めます。併せて、車内空間のより親しみやすい環境づくりのため、地域の学生が介助員やアテンダントとして車内で活動する取組についても検討・実施します。



【JR東海】特別列車「飯田線リレー号」に、上伊那地方の高校生が「観光アテンダント」として乗車
出典：長野県HP

【上田電鉄】大学生による沿線観光ガイド予定表
出典：上田電鉄HP

2024年8月 実施日				4	31
曜日				日曜日	土曜日
上田発	10:23	別所温泉 着	10:51		○
別所温泉 発	11:05	上田 着	11:34		○
上田 発	12:09	別所温泉 着	12:30		○
					○
上田 発	14:00	別所温泉 着	14:27	○	
別所温泉 発	14:01	上田 着	14:30		○
別所温泉 発	15:01	上田 着	15:30	○	
上田 発	16:09	別所温泉 着	16:37	○	
別所温泉 発	16:42	上田 着	17:14	○	



【イオン(株)】あいの風とやま鉄道特別列車「ララゆめ号」砺波北部小学校2年生がアナウンスを体験
出典：富山県HP



【万葉線】土日祝の車内アナウンスは落語家立川志の輔さん
出典：万葉線株式会社

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
地域コミュニティ醸成のためのアナウンス等の車内サービスの検討 (事業 1-10-1)						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する	検討		実施		
実施主体	立山町、バス事業者					
車内交流活性化のための学生介助員やアテンダントの設置検討 (事業 1-10-2)						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、商工会					

基本方針 2

「効率的」「持続的」に運営される公共交通 ～マイカーに依存せず暮らせるまちに～

(1) 既存交通の改善と新たな交通の検討

施策 2-1 公共交通サービスの最適化

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

本町の公共交通事業は利用者数の減少や燃料費等の高騰に伴い赤字額が著しく拡大しており、公共交通ネットワークの持続性確保等の観点から、公共交通サービスの効率化・最適化を進めることが特に重要となります。

このため、現在の利用状況や利用者のニーズ等を踏まえ、ダイヤや車両サイズの見直し、運転手の効率的な配置等による運行の合理化を検討・実施します。併せて、運転手不足対策や輸送の効率化の観点から、利用者が少ない路線や時間帯におけるタクシー車両の活用の検討を段階的に進めます。また、効率的で質の高い公共交通サービスの実現に向け交通事業者の保有資源を最大限に発揮できるよう、交通事業者間の連携による運行の共同化について、調査・研究を進めます。



【駒ヶ根市】こまがねデマンド型乗合タクシー
定時定路線型バスを廃止し、交通不便者の通院・買い物目的を絞った「デマンド型乗合タクシー」の運行に移行。

出典：国土交通省資料

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
ダイヤ・車両・人材の合理化の検討（事業 2-1-1）						
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、バス事業者、タクシー事業者	●----->				
タクシー活用による車両の小型化の検討（事業 2-1-2）						
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める	実施				
実施主体	立山町、バス事業者、タクシー事業者	●----->				
交通事業者間の連携による運行の共同化の検討（事業 2-1-3）						
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす	調査・研究		結果により判断		
実施主体	立山町、バス事業者、タクシー事業者	●----->				

施策 2-2 他分野と連携した運行方法の検討

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

公共交通の効率化・最適化を進めるためには、既存の公共交通と教育、福祉、医療など多様な分野の交通が連携し、町内の限られた交通資源を最大限に活用していくことが求められます。

このため、町内にある町営バス、スクールバス、福祉バスなどの各分野の公共交通の一体的な運行により運行コストの削減や運転手配置の効率化等が実現できるよう、これらの運行の一括委託に向けた検討段階的に進めます。また、スクールバスなどの特定の利用者に利用が限定されているバスへの一般客の混乗については、町が運行主体であるスクールバス、福祉バス等における実現可能性の検討を段階的に進めるとともに、主に民間企業が運行主体となる病院等の施設送迎バスへの実現可能性についても調査・研究を進めます。



ほうぎ

【伯耆町】自治体運行による送迎事業の一括委託

教育部署のスクールバス、交通部署のデマンドバス、介護部署の外出支援サービス、総務部署の研修バスを「地域交通準備室」の管轄のもと、「地域交通特別会計」予算で一元管理。
出典：国土交通省「地域の関係者による連携・協働のカタログ」



【白川町・東白川村】おでかけ しらかわ・ひがししらかわ
JR白川口駅、白川病院、町役場など町内の主要施設や地区間を結ぶ定期バス2路線と、町内5つの地区内や定期バスとの乗り継ぎ地点までを結ぶ予約制バスを連携させた公共交通ネットワークシステム。2021年には、一部区間で白川病院無料送迎バスとの統合を実現。
出典：白川・東白川地域公共交通活性化協議会HP

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
重点事業	スクール、福祉、町営バスの一括委託による効率化の検討 (事業 2-2-1)					
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす	検討		実施		
実施主体	立山町、バス事業者、タクシー事業者、社会福祉協議会					
スクールバス、福祉バスへの混乗可能性の検討 (事業 2-2-2)						
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす	検討		実施		
実施主体	立山町、バス事業者、タクシー事業者、学校、社会福祉協議会					
病院等の施設送迎バスとの混乗可能性の検討 (事業 2-2-3)						
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす	調査・研究		結果により判断		
実施主体	立山町、医療機関					

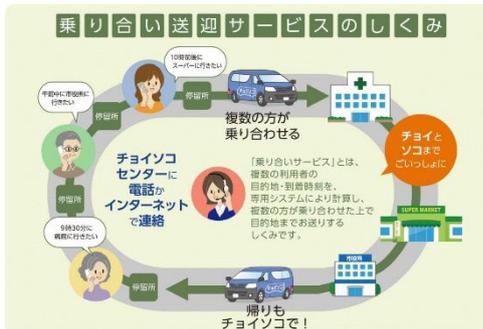
施策 2-3 新たな交通モード導入による効率化

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

本町では地区間・地区内の移動手段として「立山町営バス」6路線を運行していますが、1便当たり1.0人以下のいわゆる「空バス」が多く存在する路線があります。

このため、各地域において必要な時に利用者ニーズに応えることができ、効率的な運行が期待されるAI技術を活用したオンデマンド交通サービスの導入検討を進めます。併せて、公共交通としてのタクシーの有効活用に向け、数名の乗客を同時に運ぶ乗合化やタクシー利用者に対する補助制度の導入に向けた検討を段階的に進めます。また、地域内の交通を中心に、地域住民が主体となって地域内の移動を支え合う新たな仕組み（住民等による自家用有償旅客運送）の導入に向けた調査・研究を進めます。



【砺波市】チョイソコとなみ
自宅前⇄指定停留所で乗降する乗合い送迎サービス
出典：AISIN「チョイソコとなみ」HP



【朝日町】ノッカル朝日町
住民同士の助け合いで住民ドライバーの予定と利用者の外出予定をマッチングする。
出典：朝日町HP



【前橋市】マイタク（デマンド相乗りタクシー）
前橋市では移動困難者対策としてマイタクの運行を実施。前橋市内のタクシーを利用した際、運賃の一部を前橋市が支援

支援内容

- 登録者が複数人でタクシーを同乗したとき
1乗車につき1回利用で、1人最大500円を支援
- 登録者が1人で乗車したとき
1乗車につき1回利用で、タクシー運賃の半額（上限1,000円）を支援

出典：前橋市HP、全国ハイヤー・タクシー連合会 乗合タクシー事例集

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
重点事業	AI オンデマンド交通の導入検討（事業 2-3-1）					
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	実施	→	→	→	→
実施主体	立山町、バス事業者、タクシー事業者、自治会、店舗経営者等の受益者					
タクシーの乗合化、補助の導入検討（事業 2-3-2）						
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討	→	実施	→	→
実施主体	立山町、タクシー事業者					
住民等による自家用有償旅客運送の導入検討（事業 2-3-3）						
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑨ 公共交通を「自分ごと」化する	調査・研究	→	結果により判断	→	→
実施主体	立山町、タクシー事業者、町民、自治会					

(2) 運転士確保に向けた支援

施策 2-4 人材の雇用・育成等に関する支援策等の検討

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

本町においても運転士不足の課題が明らかになっており、今後さらにこの状況が悪化する可能性が懸念されています。

このため、継続的な人材の確保に向け、県との連携のもと、公共交通に特化した就職説明会等の人材の共同募集を検討・実施します。また、将来的な雇用の確保に向け、こどもから大人までの幅広い層に対する職場体験会の開催を検討・実施します。



【川崎市交通局】市バス「体験型」営業所見学会の様子
運転手体験、整備士体験
出典：川崎市HP



【富山県】バス運転手専門の就職イベント「どらなび EXPO東京」に県とバス事業者が参加
出典：富山県資料

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
就職説明会の開催等の人材の共同募集（事業 2-4-1）						
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、富山県、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、商工会					
交通事業者職場体験会の開催（事業 2-4-2）						
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者					

施策 2-5 労働環境整備への支援策等の検討

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

交通業界においては、長時間の勤務や過重労働が課題となっており、運転手確保の観点からも適切な労働環境の整備が求められています。

適切な知識とスキルを持つ人材の育成は、交通業界の持続的な発展に欠かせないため、国や県の協力のもと、研修費用の補助など資格取得や研修参加を支援する施策とそのPRを進めます。加えて、労働者の定着に向けては、安心して働ける環境を整えることが不可欠であることから、トイレや仮眠室、休憩室などの施設整備に向けた調査・研究を進めます。



【スターハイヤー】女子専用休憩室・更衣室
女性タクシードライバーの職場環境向上に積極的に取り組む。
出典：スターハイヤーHP

教習料金（1時限50分）

免許種別	1回券	自主練習	5回券	10回券
大型一種	9,700円	6,700円	47,200円	92,500円
中型一種	7,600円	5,300円	36,900円	72,300円
準中型	7,600円	5,300円	36,900円	72,300円

免許取得のための教習料金を補助

資格取得や研修参加への支援イメージ
教習料金出典：富山県交通安全協会

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
国や県と連携した資格取得や研修参加への支援、PR（事業 2-5-1）						
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める	実施				
実施主体	国、富山県、立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者					
トイレや仮眠室・休憩室等の施設整備（事業 2-5-2）						
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める	調査・研究				
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者	結果により判断				

施策 2-6 地域における運転士（担い手）確保の取組への支援

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

超高齢社会において、地域における移動手段の確保は地域住民の生活の質に直結する要因となり得ます。また、交通業界で運転士が不足する中、今後交通事業者が各地域内の交通を担うことが難しい状況となることが懸念されています。

こうした背景を踏まえ、地域の移動手段を持続的に確保するとの観点から、地域における有償送迎者の募集・育成方法の検討を段階的に進めます。



【朝日町】一般ドライバーが活躍する
ノッカルあさひまち
出典：朝日町資料



【新京丹後 MaaS 共創プラットフォーム】
公共ライドシェア一般ドライバー募集（報道資料抜粋）
出典：京丹後市 HP

- 【ドライバーの主な要件】
- ・市内在住又は在勤の方
 - ・令和7年3月末時点で21歳以上75歳以下の方
 - ・普通自動車第一種又は第二種運転免許を有する方で、運転免許取得後3年以上経過し、過去2年以内に免許停止処分がない方
 - ・心身ともに健康な方
 - ・令和7年4月以降もドライバーを担う意思を有する方
- 【ドライバー委託料】
- ・運行業務に従事した場合 1時間単価 1,200円
 - ・燃料費手当 1km当たり25円

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
重点事業	町内における有償送迎者の募集・育成方法の検討（事業2-6-1）					
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する	検討		実施		
実施主体	立山町、タクシー事業者、自治会、企業、店舗経営者等の受益者					

(3)交通事業者の経営環境の改善

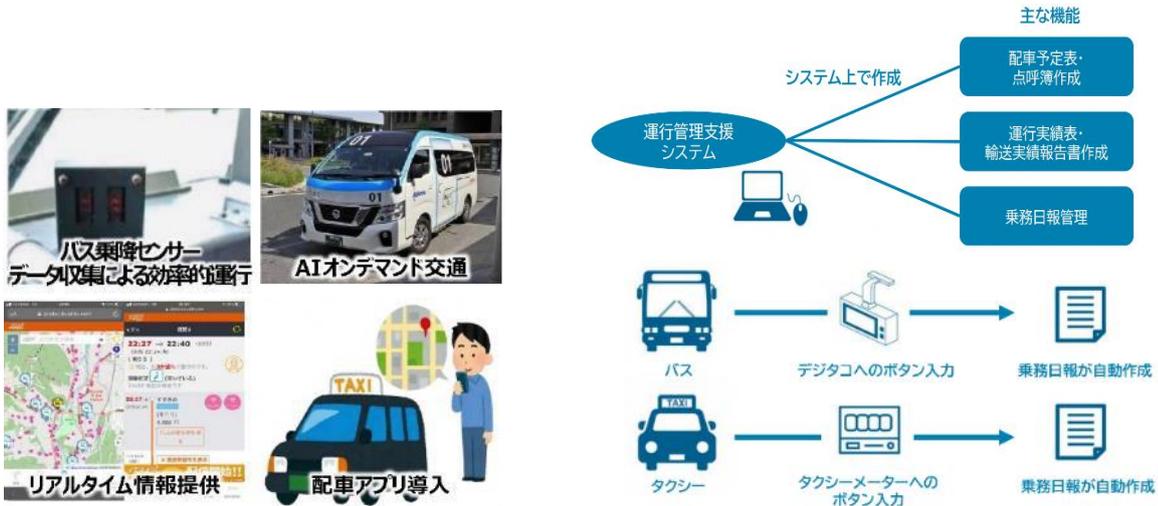
施策 2-7 業務効率化に向けた交通DXの促進

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

本町の多くの交通事業者では運行実績や勤怠管理等のIT化が進んでいないため、データ集計に関する煩雑な事務作業が事業者の負担となっているものと考えられます。

このため、交通事業者の運行業務の効率化に向けた運行管理システム・配車アプリの導入支援策を検討・実施します。



業務効率化イメージ

出典：交通DX・GXによる経営改善支援事業資料（国土交通省）

運行管理支援・乗務日報自動作成システムのイメージ

出典：旅客自動車運送事業のためのデジタル化の手引き（国土交通省）

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
運行管理システム・配車アプリの導入支援（事業2-7-1）						
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、バス事業者、タクシー事業者					

施策 2-8 電子決済の対応支援

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

デジタル化が進展する中で、電子決済は生活に欠かせない存在となってきています。本町の公共交通の電子決済方法は、鉄道や路線バスでは「えこまいか」、町営バスやタクシーでは「たてポ」がありますが、「えこまいか」と「たてポ」との相互利用ができません。また、町内の公共交通では、全国共通交通系 IC カードの利用ができません。

このため、利用者の利便性向上や運行事業者の決済事務の効率化等の観点から、町内の公共交通での全国共通交通系 IC カードとの連携に向けた調査・研究を進めます。



交通系 IC カードの全国相互利用イメージ
出典：名古屋市交通局HP

相互利用可能エリア



ICカード利用イメージ
出典：JR西日本HP

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
全国共通の交通系 IC カードとの連携支援 (事業 2-8-1)						
目 標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	調査・研究		結果により判断		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者					

施策 2-9 事業収入の拡大に向けた取組の促進

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

町内の公共交通の主たる収入源は運賃収入ですが、安定的に交通事業を継続するには、新たな収益源を創出するための積極的な取組が不可欠となります。

このため、交通事業者が行う車内やイベントでの地域の特産品やオリジナルグッズなどの販売の強化や、鉄道ファン向けの体験ツアー等の受入れ環境整備に対する支援策を検討・実施します。



【清瀬市×銚子電鉄】
清瀬市と銚子電鉄の共同開発
新たな挑戦…伝われ、清瀬の魅力！
「きよせ棒」発売！
出典：銚子電気鉄道HP

＜好評のうち終了＞鉄道好き必見！！特別企画！普段見られない市内電車 車両基地見学ツアーに出発進行！ 富山地方鉄道 市内電車 車両基地見学 & 1日フリーきっぷ付き

北一ノ宮 → 富山 → 富山地方鉄道 市内電車 車両基地見学 & 1日フリーきっぷ付き



★富山地方鉄道（株）完全協力・職員が現場案内するガイドツアー★
安全運転の最前線である点検作業が行われる車両基地（南富山）は、遠景は見る事ができない施設です。こちらのコースでは、富山地方鉄道の全面協力を得て現場を見学します。
富山地方鉄道の市内電車と一緒に走る車両基地（南富山）で、市内電車を最接近で見ることができ、係員が仕込みについて詳しく教えてくれます。運転台での写真撮影、洗車体験もできます！
電車好きのお子様連れファミリーはもちろん、大人の方にも大好評のプランです♪
身近な乗り物を身近で学習できるチャンスですので、ご家族、ご友人同士で、お気軽にご参加下さい。

【三重交通】普段見られない市内電車 車両基地見学ツアー（南富山）
富山地方鉄道（株）完全協力・職員が現場案内するガイドツアー
出典：VISIT 富山県

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
車内やイベント等での物販事業の強化への支援（事業 2-9-1）						
目 標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、観光協会、商工会					
鉄道ファン体験ツアー等の受入れ環境整備への支援（事業 2-9-2）						
目 標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、観光協会					

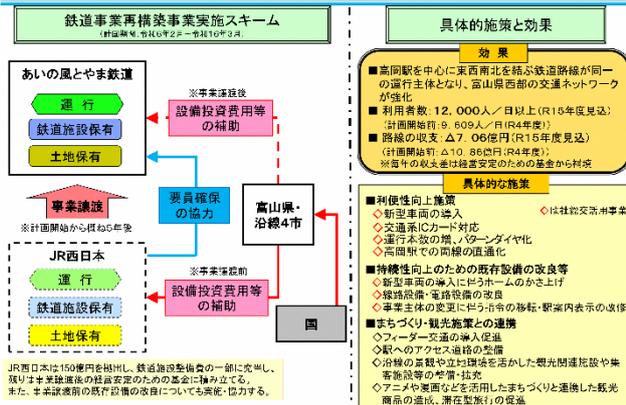
施策 2-10 収支改善に向けた取組の促進

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

町内のほとんどの公共交通で運行に関する国庫補助が活用されていないことから、交通事業の収支改善に向け、鉄道やコミュニティ交通において各種国庫補助の活用を検討します。また、立山線については、路線存続に向けて、鉄道事業再構築事業を検討・実施するとともに、継続的に存続に向けた検討・協議を実施していきます。

城端線・氷見線の鉄道事業再構築事業の概要



県内における鉄道支援の例
 (城端線・氷見線の鉄道事業再構築事業の概要)

出典：国土交通省資料

幹線系統を補完する、赤字の支線
 (フィーダー)の運行経費に対する補助



フィーダー補助対象費算定方法イメージ

出典：国土交通省資料

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要	スケジュール				
	R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
各交通モードにおける国庫補助の活用検討 (事業 2-10-1)					
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める				
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者				
重点事業	立山線再構築事業の検討・実施 (事業 2-10-2)				
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標② 既存資源を活用し待合環境を改善する 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑥ 主要駅周辺の魅力を高める				
実施主体	富山県、立山町、富山市、鉄道事業者、観光協会、店舗経営者等の受益者				
立山線の存続に向けた協議の実施 (事業 2-10-3)					
目標	目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑥ 主要駅周辺の魅力を高める				
実施主体	富山県、富山市、立山町、鉄道事業者				

基本方針 3

「まちづくり」とともに活性化する公共交通 ～楽しく豊かに過ごし暮らせるまちに～

(1) 駅周辺まちづくりの推進

施策 3-1 生活を豊かにする駅機能の拡充

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

駅は、単なる交通施設ではなく、様々な人が行き交うまちづくりの核となる場所であり、そこにはまちの活性化につながる機能の充実が求められます。

これらを踏まえ、多様な目的での駅利用の促進に向けた駅舎へのカフェや小売店、地域の特産品を扱うブース等の併設や、駅舎滞在時の快適性向上に資する休憩スペースや荷物置き場の設置などの駅舎の魅力づくりのための取組を検討・実施します。併せて、駅周辺の活性化に向けた地元自治会や商店・施設と連携による公共交通の待ち時間を活用できる機能の拡充や、新設されたアカリエなどの公共施設やそこで開催されるイベントと連携した取組を検討・実施します。



【ひたちなか海浜鉄道】
駅ホーム上でJ Aが朝市を毎月開催し賑わいを創出
出典：富山県地域交通戦略会議 部会資料



【上市町】上市駅構内古本市。期間中は町営バスを無料運行、地鉄電車での来場者に割引券を配布
出典：上市町資料



学習・閲覧スペース<図書館> カフェ<待合室内>



【石動駅】駅改札と図書館、カフェが直結。図書館には学習スペースを設置し、カフェは地元の社会福祉法人が運営
出典：富山県地域交通戦略会議資料

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
複合化や快適性向上による駅舎の魅力づくり (事業 3-1-1)						
目 標	目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑥ 主要駅周辺の魅力高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、自治会、企業、商工会、観光協会					
自治会や店舗・施設と連携した駅周辺機能の拡充 (事業 3-1-2)						
目 標	目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑥ 主要駅周辺の魅力高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標② 既存資源を活用し待合環境を改善する 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、自治会、商工会、店舗経営者等の受益者、観光協会					
重点事業 公共施設の再配置やイベントと連携した駅周辺活性化 (事業 3-1-3)						
目 標	目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑥ 主要駅周辺の魅力高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、自治会、商工会、店舗経営者等の受益者、観光協会					

施策 3-2 駅周辺におけるアクセス性の向上

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

本町には、富山地方鉄道立山線が町の背骨のように走り、町内には13の駅が存在しています。しかしながら、駅へアクセスするための駐車場や歩道、2次交通の整備は充分とは言えません。

このため、まちづくり計画（立地適正化計画等）に地域の拠点と位置付けた駅を中心に、周辺店舗との連携や増設によるパーク＆ライド駐車場の拡充を検討・実施します。併せて、誰もがまちづくりの場となる駅周辺に気軽に安心して滞留できるよう、駅周辺でのスロープや視覚障害者誘導用ブロックの敷設などのバリアフリー化や、小型モビリティ（電動スクーター等）等の2次交通の導入に向けた調査・研究を進めます。



【立山町】岩嶽寺駅パーク＆ライド駐車場
他駅への拡大



- ・乗降場所から歩道までスロープ
- ・視覚障害者誘導用ブロック敷設
- ・広幅員の歩道

- 歩道利用促進
- 地域商店等の活性化

駅周辺のバリアフリー化イメージ

出典：バリアフリー基本構想ガイドライン（国土交通省）

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
重点事業	周辺店舗との連携や増設によるパーク＆ライド駐車場の拡充 (事業 3-2-1)					
目標	目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑥ 主要駅周辺の魅力を高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、自治会、企業、店舗経営者等の受益者					
駅周辺のバリアフリー化 (事業 3-2-2)						
目標	目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑥ 主要駅周辺の魅力を高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす	調査・研究		結果により判断		
実施主体	立山町、鉄道事業者、自治会、店舗経営者等の受益者、道路管理者、交通安全団体					
主要駅における2次交通の導入検討 (事業 3-2-3)						
目標	目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑥ 主要駅周辺の魅力を高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす	調査・研究		結果により判断		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、自治会、商工会、店舗経営者等の受益者、交通安全団体					

(2)観光まちづくりの推進

施策 3-3 観光2次交通の導入促進

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

町内に点在する魅力ある観光地へのアクセスを促進するためには、鉄道からの2次交通の整備が欠かせません。

このため、現在、観光客向けに進めている自転車事業「E-BIKE レンタル事業」においてレンタル場所や車両数の拡充を促進します。また、利便性向上による観光客数増のため、町内の観光スポットを効率的に巡ることができる周遊バスの導入に向けた調査・研究を進めます。



【立山町】E-BIKE レンタル事業
出典：立山町観光協会HP

立山町観光地・観光ツアー・イベント

立山町観光協会

立山町観光協会

立山町観光協会

【ガイド付きE-BIKEツアー-2025参加者募集中】@文化の日 国指定名勝地紅葉D「称名滝」と立山信仰の歴史に触れる「西研寺」探訪
◎ツアー開催日：2025年8月24日（日）

【ガイド付きE-BIKEツアー-2025参加者募集中】尖山登山&サイクリング
◎ツアー開催日：2025年8月24日（日）

【ガイド付きE-BIKEツアー-2025参加者募集中】E-BIKEと徒歩で行く立山参道三十三観音巡り

×

路線バス・周遊バス

導入促進

観光地等への周遊バスの導入促進イメージ
写真出典：立山町観光協会HP

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
自転車事業の拡充促進（事業 3-3-1）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす	●	→	→	→	→
実施主体	立山町、観光協会					
観光地やイベント等への周遊バスの導入促進（事業 3-3-2）						
目標	目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑥ 主要駅周辺の魅力を高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす	●	→	→	→	→
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、観光協会					

施策 3-4 観光分野における公共交通PR促進

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

地域観光の活性化に向けては、公共交通を活用したPR促進も有効な手段のひとつです。

近年のサイクルツーリズムの高まりを踏まえ、町内観光スポットへのアクセスの便利さやその魅力に重点を置いた地铁電車におけるサイクルトレイン等の利用促進PRを拡充するとともに、観光協会との協働によるサイクルツーリズムの協力店舗やサイクルステーションに関する情報発信などサイクルツーリズムのPRを促進します。併せて、鉄道による観光PR効果を高めるため、観光資源などの地域性を内外装のデザインに取り入れたラッピング車両の導入を検討・実施します。



富山地方鉄道サイクルトレイン
出典：とやまサイクルナビHP



富山県立山
ジャパンエコトラック ルートマップ



【アルピコ交通】
女性社員考案なぎさ TRAIN
クラウドファンディング
出典：アルピコ交通HP



【阪急電鉄】ちいかわラッピング列車
出典：阪急電鉄HP

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
サイクルトレイン等の利用促進PRの拡充（事業3-4-1）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす	実施				
実施主体	立山町、鉄道事業者、観光協会					
観光協会と協働したサイクルツーリズムのPR促進（事業3-4-2）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす	実施				
実施主体	立山町、観光協会					
車内外装ラッピングによる観光PR促進（事業3-4-3）						
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす	検討				
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、高校、観光協会			実施		

施策 3-5 立山黒部アルペンルートとの連携強化

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

立山黒部アルペンルートは本町のみならず富山県最大の観光スポットであり、これに接続する富山地方鉄道立山線も地域観光の活性化において重要な役割を担っています。

このため、富山地方鉄道立山線における立山黒部アルペンルート来訪者への利便性を高める取組や立山黒部アルペンルートへの誘客の強化策など、鉄道とアルペンルートとの連携を強化する取組を検討・実施します。

また、訪日外国人及び国内観光客の更なる利便性向上の観点から、鉄道やアルペンルート、宿泊・飲食施設等のMaaSによる連携方策や国内周遊観光に配慮した複数交通の一括決済システムの整備などについて、検討を段階的に進めます。



- ① イベント・スポット情報の提供 【おでかけ情報】
地域の特色を取り込んだイベント・店舗情報を提供し、外出のきっかけ作りや目的地付近での回遊性を向上
- ② ルート検索 【地図で探す】
独自のルート検索エンジンによる、街に存在する様々な移動手段を組み合わせた最適なルートを表示
- ③ 予約・決済 【お得におでかけ】
各種モビリティの予約や交通サービスや観光施設等のデジタルチケット購入・決済までを1つのアプリ内で完結



【富山県】MaaS アプリ「my route」の例
出典：富山 my route 推進協議会資料

立山町内公共交通と一つのサービスとして提供



MaaS イメージ 出典：国土交通省 HP

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
重点事業	鉄道とアルペンルートとの連携の強化 (事業 3-5-1)					
目標	目標⑥ 主要駅周辺の魅力を高める 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、観光事業者、観光協会					
	鉄道、アルペンルート、宿泊飲食施設等のMaaS連携の検討 (事業 3-5-2)					
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、観光事業者、店舗経営者等の受益者、観光協会					
	国内周遊観光に配慮した複数交通の一括決済の検討 (事業 3-5-3)					
目標	目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、観光協会					

基本方針 4

「わたしたち」が育てる公共交通 ～心を寄せ合いみんなで支えるまちに～

(1)町民等の「利用者」としての参画の推進

施策 4-1 交通リテラシー教育による利用促進

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

本町では公共交通の利用習慣がない町民が多く、公共交通サービスを維持するに当たっての大きな課題となっています。

このため、将来的に交通需要が生まれる児童・生徒を対象に、社会科等の授業や校外学習、夏休みの自由研究などの機会を捉えた交通リテラシーを育む取組や、交通事業者等と連携した職業体験等の実施に向けた検討を段階的に進めます。一方、現時点で交通需要の多くを占める大人世代に対しては、職場でのノーマイカーデーや時差出勤等の導入や、「職員」個人を対象とした通勤行動の変容を目指したモビリティ・マネジメントの実施を検討します。また、転居や運転免許証の返納などのライフイベントは交通リテラシー教育を広める大きなチャンスであることから、転入者に対する公共交通に関する啓発ツールの提供や、運転免許証の返納を考える高齢者に対する高齢者運転免許自主返納支援制度（インセンティブ）、公共交通でのライフスタイルに関する情報提供などに関する検討を段階的に進めます。加えて、高齢者の介護予防の一環として、介護サービス事業者との連携を図りながら、公共交通利用プログラムの導入に関する調査・研究を進めます。

富山県庁時差出勤制度の概要

項目	内容
趣旨	通勤時における公共交通機関の混雑緩和や職員の通勤に係る疲労を軽減することにより公務効率の一層の向上を図る
対象	午前8時30分から午後5時15分まで勤務時間が割り振られている職員（会計年度任用職員を除く）のうち、公共交通機関を利用して通勤している職員



【富山市】のりもの語り教育（交通環境学習）
出典：富山市HP



【仙台市】転入者モビリティ・マネジメント（統合バスマップによる情報提供）出典：仙台市HP

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
重点事業	学校と連携した職業体験や利用促進策の検討（こどもMM） (事業 4-1-1)					
目 標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、学校、町民					
重点事業	職場や企業誘致と連携した利用促進策の検討（職場MM） (事業 4-1-2)					
目 標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	実施				
実施主体	立山町、企業、町民、商工会					
重点事業	ライフイベントと連動した利用促進策の検討 (転入MM、免許返納MM) (事業 4-1-3)					
目 標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、警察、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、町民					
介護予防と連携した利用促進策の検討（介護MM） (事業 4-1-4)						
目 標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	調査・研究		結果により判断		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、町民、社会福祉協議会、自治会					

施策 4-2 利用するきっかけ（インセンティブ）の創出

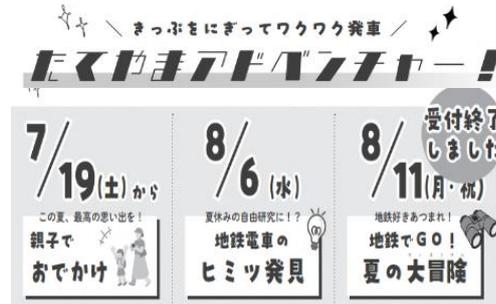
施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

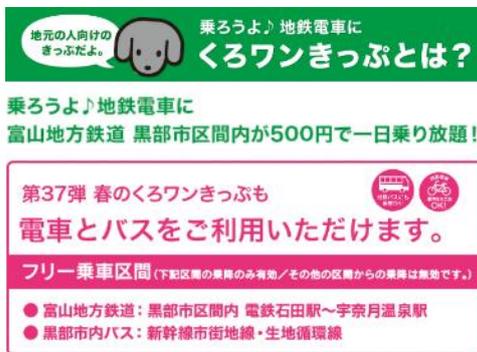
車を利用する町民が多数を占める中で公共交通の利用を促進するためには、何らかのきっかけが必要です。このため、イベントや企画切符、ポイントの拡大などによる各種割引方策の実施や、非利用者を対象とした乗り方や魅力を知る乗車体験会の開催を検討・実施します。また、立山あーとれいんや親子でおでかけ事業などの既存おでかけ事業と連携した利用促進策を継続的に実施するとともに、こどもから大人まで体験できる交通業務見学会や交通に関連するイベントの開催を検討・実施します。



イベント、企画切符による利用促進イメージ



出典：富山地方鉄道HP、立山町資料



企画切符の例 出典：くるワンきっぷHP



見学ツアーの例 出典：天竜浜名湖鉄道HP

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
重点事業 イベント、企画切符、ポイントの拡大等の各種割引検討による利用促進（事業4-2-1）						
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、町民、商工会、社会福祉協議会、観光協会、自治会					
重点事業 体験乗車会等の開催（事業4-2-2）						
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、町民、学校、商工会、社会福祉協議会、観光協会					
既存おでかけ事業等と連携した利用促進（事業4-2-3）						
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	実施				
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、町民、観光協会					
交通業務見学会、交通イベントの開催（事業4-2-4）						
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、町民、自治会、商工会、店舗経営者等の受益者、観光協会、社会福祉協議会					

施策 4-3 情報発信の充実

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

情報発信により公共交通を利用した外出を促進するためには、広報やSNSといったさまざまなPRツールを活用して行うことが重要です。

このため、広報たてやまなどの地域のイベント情報記事への公共交通関連情報の追加や新しい公共交通サービス導入情報のPRなどを積極的に行うほか、リアルタイムで多くの人々に情報を届ける手段として効果的なSNSを活用し、公共交通を使ったおでかけの魅力発信を進めます。



【立山町】広報たてやま 2025.5
巻頭5ページ公共交通特集



【黒部市】広報くろべ 2025.4
巻頭6ページ公共交通特集



Tik Tok による情報発信の例
【兵庫県バス協会】バス運転手インタビュー（左）
【東京バス】社内の楽しさが伝わる投稿（右）



【JR西日本】お出かけ情報
出典：JR西日本Instagram



【伊賀市】「伊賀市の未来は公共交通がつくる！」（公共交通計画紹介動画）
出典：忍者市チャンネル【三重県伊賀市】（伊賀市公式動画チャンネル）

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
各種PRツールを用いたおでかけを誘発する情報発信の強化 (事業4-3-1)						
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	実施				
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、町民、観光協会、商工会、社会福祉協議会、自治会、学校					

施策 4-5 交通事業に対する運営での参画

施策効果	利便性確保	利便性向上	快適性向上	安全性確保	収益性向上	効率化
	持続性確保	環境負荷低減	認知度向上	当事者意識向上	地域活性化	その他

【概要】

町民や企業等が交通事業の運営に参画することは、町民や企業等自らが公共交通を「自分ごと」として捉えることにつながり、公共交通の利便性や持続可能性を高めるのみならず、地域の活性化にも寄与するものです。

このため、交通事業や交通施策の実施に関する各種会議の開催を継続的に実施するとともに、町民等が参画する施設管理や整備、情報提供等の取組を検討・実施します。併せて、地元住民等との共創の観点から、芦峠寺線の維持に向けた取組を継続するとともに、運行エリアへのトリガー方式の導入に関する調査・研究を進めます。



【西日本鉄道】バス停デザインプロジェクト
バス停「リーフ」
九州大学と西日本鉄道の共同研究
出典：九州大学HP



【立山町】多手山プロジェクト
「ぬくもりに ふれてみるハル 2025」
出典：町資料



【池田高校】養老鉄道池野駅キラピカ作戦
ボランティア部 16名参加
出典：岐阜県池田高等学校HP



【金沢市】トリガー方式によるバス利用の促進
金沢市が金沢大学とバス事業者（北陸鉄道（株））との間に立って学生のバス利用を促進。170円又は200円の料金区域において、1乗車100円相当となる特別割引の「トリガー実験定期券」を事業者が発行し、実施年度において目標とする販売枚数に達しなければ発行を中止、通常の通学定期券料金に戻すという条件を付して学生等の通学利便性の確保及びバス利用を促進する。

出典：金沢市HP、国土交通省資料



【立山町】町営バス芦峠寺線
地元の（一社）芦峠活性化協議会が運行を受託。地元の子どもの絵を活用したオリジナルラッピングや乗り方体験等を独自で実施。

出典：（一社）芦峠活性化協議会

【事業別スケジュール・関連目標・実施主体】

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
重点事業 交通事業に関する住民意見交換会の開催（事業 4-5-1）						
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める					
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、町民、自治会					

事業概要		スケジュール				
		R8年	R9年	R10年	R11年	R12年
法定協議会、地域公共交通会議の定期開催（事業4-5-2）						
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	実施				
実施主体	国、富山県、立山町、道路管理者、警察、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、町民、自治会、商工会、労働者団体、学校、交通安全団体、観光協会、社会福祉協議会					
お掃除ボランティア登録制度の導入（事業4-5-3）						
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑥ 主要駅周辺の魅力を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、町民、自治会、学校、店舗経営者等の受益者、商工会					
バス停デザインなど学生と連携した情報発信等の強化（事業4-5-4）						
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、バス事業者、町民、学校					
多手山プロジェクトへの参加促進（事業4-5-5）						
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める 目標⑥ 主要駅周辺の魅力を高める	実施				
実施主体	立山町、鉄道事業者、町民、観光協会、自治会、商工会、学校、社会福祉協議会、企業					
重点事業	店舗や施設、住民と連携した待合場所等の快適性の確保（事業4-5-6）					
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標② 既存資源を活用し待合環境を改善する 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	検討		実施		
実施主体	立山町、バス事業者、町民、自治会、店舗経営者等の受益者、交通安全団体					
運行エリアへのトリガー方式の導入（事業4-5-7）						
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	調査・研究		結果により判断		
実施主体	立山町、バス事業者、町民、自治会、店舗経営者等の受益者、企業、医療機関、学校					
芦峯寺線の維持（事業4-4-8）						
目標	目標⑦ 公共交通の関係人口を増やす 目標⑧ 公共交通を「自分ごと」化する 目標① 公共交通全体の利用者を増やす 目標③ 公共交通の持続可能性を高める 目標④ 鉄道利用者を増やす 目標⑤ 町民の公共交通の満足度を高める	実施				
実施主体	立山町、バス事業者、自治会、学校、企業、観光協会					